



SAJ 報告



2027 年度・2028年度

全日本ジュニアスキー技術選手権大会の招致について

長野県菅平に決定

法人名称変更

「公益財団法人 全日本スキー・スノーボード連盟」

メダル、賞状、合格証等変更

公認スキー学校公認証 → 電子公認証に移行

バッジに関しては・・・

料金改定（受検料）

公認スキー指導員	25,000円→30,000円
公認スノーボード指導員	25,000円→30,000円
公認クロスカントリースキー指導員	7,000円→10,000円
公認スキーA級検定員	7,000円→10,000円
公認スノーボードA級検定員	7,000円→10,000円
公認クロスカントリースキー検定員	7,000円→10,000円
公認スキーパトロール	15,000円→20,000円

料金改定（参加料）

スキー大学参加料	30,000円→36,000円
スキー大学（検定員クリニック付）参加料	33,000円→40,000円
全日本スキー技術選手権大会参加料	15,000円→18,000円
全日本スノーボード技術選手権大会参加料	15,000円→18,000円
全日本マスタース技術選手権大会参加料	15,000円→18,000円
全日本ジュニアスキー技術選手権大会参加料	9,000円→12,000円
スキーデモンストレーター選考会参加料	15,000円→18,000円
スノーボードデモンストレーター選考会参加料	15,000円→18,000円

第64回全日本スキー技術選手権大会

- 参加枠は男子女子ともに北海道は前年度と同様
- 大会期間中における 18 歳未満を含む未成年者の管理・監督については、加盟団体がその責任のもと対応することを大会出場の条件とする。

第11回全日本ジュニアスキー技術選手権大会

- 優先参加枠を設ける。
- 前年度（第9回大会）に上位入賞しながらも、申込から漏れてしまい参加できないジュニア選手が存在した。
- 優先参加枠対象は男女各カテゴリー上位10名（KSIAを除く表彰対象者）とする。
- 第9回大会上位入賞者が第10回大会に参加できなかったことを踏まえ、第9回大会の成績まで遡ることとする。従って、第10回大会の成績と第9回大会の成績参考にして優先参加枠を付与する。

公認インターナショナルスキーインストラクター資格の新設

公認スキー学校インターナショナル分校の設置を追加

日本国外での指導を想定

オンラインバッジテスト

屋内スノースポーツ施設の回転シートでも実施できる
ことになった

インターナショナルスキーインストラクター検定

- インストラクター検定会は、本連盟が主催し、加盟団体の主管で行う
- 受検者は受検年度の本連盟会員登録を完了した者
- 受検する年度の4月1日時点で 18 歳以上
- 受検する年度の養成講習会申込日までに、スキー級別テスト2級以上
- 加盟団体が主催するインストラクター養成講習をインストラクター検定会までに修了し、インストラクター養成講習修了報告書によって証明された者
- 修了した養成講習の有効期間は受講年度のみ

実技テスト種目

- ブルークボーゲン

緩斜面・整地 4～6回転

- ベーシックパラレルターン 大回り

中斜面・ナチュラル 4～6回転

- シュテムターン

中斜面・ナチュラル 4～6回転

- 総合滑降 リズム変化

総合斜面・ナチュラル

採点基準・合否判定方法

- ① 実技テストは、検定員2名以上の評価とし、2名以上の評価の平均値（小数点第1位を四捨五入）を当該種目の取得ポイントとする。
- ② 実技テストは、各種目とも70ポイントを基準とし、4種目中3種目が70ポイント以上とし、合計280ポイント以上を合格とする。

養成講習

- ① 養成講習は、集合講習 12 時間、自主学習 6 時間の計 18 時間
 - 基礎理論 6 時間（集合講習 4 時間、自主学習 2 時間）
 - 指導実習 6 時間（集合講習 4 時間、自主学習 2 時間）
 - 実技実習 6 時間（集合講習 4 時間、自主学習 2 時間）
- ② 養成講習会の講師は、本連盟の教育本部専門委員・スキー技術員、主管加盟団体長が特に認めた者とする。

公認スキー学校等設置規程

- スキー学校（A公認、B公認、分校、インターナショナル分校）及びスキー教室
- インターナショナル分校は、前年度 A 校又は B 校として公認され、今年度も更新するA校又はB校が、海外で活動する場合、A校又はB校の管轄のもと、国外のスキー場との契約を締結しているもの。開設期間は、海外で活動することを申請した期間に限る。